

令和5年度 所長交代のお知らせ

異動 ^{しまだ しょうた} 島田 将太

着任 ^{しらた とうご} 白田 東吾



このたび人事異動のため、令和4年3月31日をもって所長を退任することとなりました。

この間、さーくるで5年近く所長をさせていただきました。都市部での相談業務は初めてでしたし、船橋は長年地域で活動されている機関や団体が非常に多く、驚きと勉強の毎日でした。

こちらの力不足やコロナ禍もあり、ご迷惑をおかけしてしまうことも多々あったかと思います。そんな中、地域の皆さまには温かいお声やご支援をいただき、何とか事業を運営することができました。私にとってかけがえのない5年間でした。心より感謝を申し上げます。私はNPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばの事務局長への異動となります。今後も、何かの折に皆さまとお会いすることもあるかと思しますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



令和5年4月1日からさーくる所長に着任することになった白田と申します。

これまで、千葉県の総合相談事業である中核地域生活支援センターすけっと、柏市の総合相談事業である地域生活支援センターあいネットの所長を務めてきました。

地域のみなさんと一緒に頭を抱えながら、相談者に寄り添った支援をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

地域のみなさんと一緒に頭を抱えながら、相談者に寄り添った支援をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



就労準備発

令和4年度を振り返って

就労準備支援事業では、週に2回、火曜日の午前中と木曜日の午後にグループワークを行い、毎回4~7人の方が参加しています。プログラムとしては、内職作業で収入を得る体験をしたり、企業の社長をお招きして働くことについてお話を聞き、就労への意識を高めました。

また、やってみたいこと、知りたいこと等を会議で話し合い、スケジュールを作成しました。就労移行支援事業所や、企業見学に行き、どんな仕事があるのか、どんな仕事が自分にできるのかを体験し、ステップアップをする準備を行っています。このほか、ボランティア活動として週に1回保護猫のお世話に参加したり、手作り小物の制作体験も行いました。

令和4年度は、述べ12人の方が登録し、3人が卒業されました。



内職作業でDMの封入作業を行いました。

[編集・発行] 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口さーくる」

(船橋市委託事業 社会福祉法人生活クラブ)

所在地：船橋市湊町2-8-11 市役所別館1階

TEL：047-495-7111 FAX：047-435-7100

E-mail：circle@kazenomura.jp

ホームページ：https://funabashi-circle.jp



さーくるHP QRコード

(令和4年度冬号)

令和4年度 冬号

広報さーくる



主な内容

- ・地域連絡調整会議
- ・庁内連絡調整会議
- ・ゲーム交流会
- ・相談の現場から
- ・所長交代のお知らせ

令和4年度 地域連絡調整会議

「コロナ禍でどう変わった？」テーマに開催

NPO法人フードバンクふなばしから活動報告

令和5年1月23日(月)、市民文化創造館(きららホール)で令和4年度地域連絡調整会議を開催しました。今回の地域連絡調整会議は、「コロナ禍でどう変わった?~やったこと・できること~」をテーマに、コロナ禍でさーくるが取り組んだ「制度を活用した支援」と「インフォーマルな社会資源とつながることで解決につながった支援」について、実績報告や事例報告を通して、皆様にお伝えさせていただきました。

また、さーくるの代表的な連携機関であるNPO法人フードバンクふなばしから、代表の世田明子様にご登壇いただき、コロナ禍での活動内容や支援の実際について、説明していただきました。

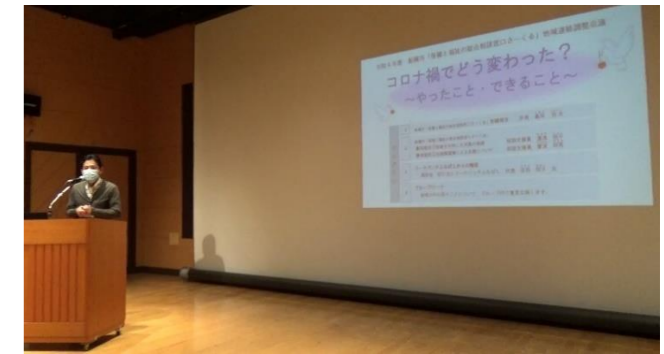
NPO法人フードバンクふなばしは、子どものいる世帯への食料支援を行っていますが、食料を送る時には、全ての荷物にお手紙を同封し、一人一人に寄り添った支援をしているということでした。

また、フードバンクふなばしを利用した方からは、「物価高騰でなかなか子どものお菓子まで買ってあげられないので、お菓子が入っていてとても嬉しかった」などの声が届いているということでした。

後半は、出席した方々がグループ毎に「地域の中の困りごと」、「これから地域でできること」などについて、グループ討議をしていただきました。短い時間でしたが、皆様、とても活発に意見交換されていました。

今回は、地域のことを全員で考えることを目的に行ったので、発表の時間を設けませんでした。次回は他のグループが話したことも共有できたらいいと思います。

今後も皆様と一緒に、地域の中でできることについて、考えていきたいと思っています。



市民文化創造館(きららホール)で開催しました。



約50人の方にご参加いただきました。

《参加者アンケートで寄せられた声》

- ・具体的な事例はとてもわかりやすかった。
- ・フードバンクの活動内容がよく理解できた。
- ・さーくるの広報活動にもっと力を入れてもらいたい。
- ・立場の違うメンバーが集まり、情報交換ができて有意義だった。

ご協力ありがとうございました

「つなぐシート」を活用して連携を ～令和4年度庁内連絡調整会議で関係機関に説明～

令和4年10月13日、令和4年度庁内連絡調整会議を開催しました。当日は庁内各課や地域の支援機関など合計50名ほどの方々にご参加いただき、さーくるの事業内容やこれまでの相談実績を様々な観点から振り返りつつ、多様な機関との連携についてお話しをさせていただきました。

さーくるで他機関と連携をする際に留意していることとして、相談者の意向に合った機関や窓口をご紹介できているか、相談者自身が紹介先の機関の役割を理解しているか、相談者が切れ目なく支援を受けられるにはどのような連携の仕方があるか、などを考えておつなぎするようにしています。

会議でもお伝えしましたが、さーくるに相談者をご紹介いただく際は、「つなぐシート」(図)をご使用ください。関係機関とのより良い連携を目的に作成しました。庁内各課や関係機関に配布させていただきましたので、ぜひご活用ください。

最後に、地域福祉課より、令和5年度から始まる「重層的支援体制整備事業」の説明をさせていただきました。庁内各課や地域の支援機関がそれぞれの強みを生かしながら、重なり合って支援をすることで、誰もが暮らしやすい船橋市となるよう、他機関の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

《行政機関・関係機関の方へ》
さーくるを案内される場合は、
「つなぐシート」に記入し、相談希望者にお渡し下さい。

つなぐシート

●部署・機関名

●担当者

●電話番号

●相談希望者の氏名(ふりがな)

●ご相談したい内容に「○」を、
一番お困りのことに「◎」を付けてください。

<input type="checkbox"/> 病気の治療、療養	<input type="checkbox"/> 家賃ローンの支払い
<input type="checkbox"/> 仕事探し、就職	<input type="checkbox"/> 家族との関係
<input type="checkbox"/> ひきこもり、不登校	<input type="checkbox"/> 成年後見
<input type="checkbox"/> 住まい	<input type="checkbox"/> 税金等の支払い
<input type="checkbox"/> 仕事上の不安やトラブル	<input type="checkbox"/> 子育て
<input type="checkbox"/> COVID、虐待、家庭内暴力	<input type="checkbox"/> 住居確保給付金
<input type="checkbox"/> 収入、生活費	<input type="checkbox"/> 離婚
<input type="checkbox"/> 地域との関係	<input type="checkbox"/> 介護
<input type="checkbox"/> 食べられない	<input type="checkbox"/> その他

相談者の居場所づくり～ゲーム交流会を開催

さーくるの最近の相談傾向として、社会参加に不安を抱えている相談者や、ひきこもり状態の方のご家族からの相談が増えています。そのような方々が社会と交流を持つきっかけになる居場所を作ることができないか、という経緯から、令和4年12月22日、初の試みとして「さーくるゲーム交流会」を開催しました。

当日は、令和3年度地域連絡調整会議で登壇していただいた東京ゲーム交流会代表の三田佳幸氏をお招きし、注意事項や知識の共有、会の進行をしていただきました。

交流会では、相談者とさーくる職員が一緒になりボードゲームを通して交流し、同一の目標に向かっていくことで信頼関係が形成され、普段の面談等の関わりの中では見ることができなかった、相談者の興味関心がどういったものに向くのかといった様子や、得意なこと、苦手なことを見つけることができました。

開催後に上がった課題としては、職員が参加者の様子を十分に観察できていなかったことや、ゲームの難易度が高かったという声があり、だれもが気軽にできるゲームの難易度を考えることで、職員が配慮をする余裕を生むことや、参加しやすい環境を作っていくことが必要であると考えました。

今後は活動を定期開催化していくことを予定しています。順次情報を発信できればと思いますので、ご質問や参加希望などをお気軽にお問い合わせください。

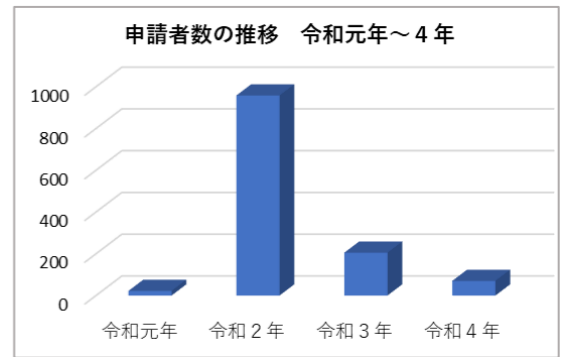


住居確保給付金窓口からの報告 ～コロナピーク過ぎ申請減少～

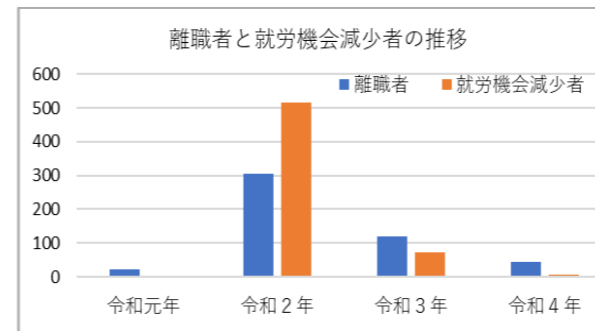
住居確保給付金臨時窓口は、緊急事態宣言が発令されてから受給者の対応に追われていましたが、第8派のピークを超えた令和5年1月現在の申請者数は70数件と例年よりも減少してきました(グラフ1)。新型コロナウイルス感染拡大当初よりは状況が改善されていることがわかります。対象者は離職のため利用された方がほとんどで、就労の機会が減少した方はほぼいないという状況です(グラフ2)。

一方で、新型コロナウイルス対応のための様々な給付金を求め、さらに使える給付金はないか? という相談内容が増えている状況もあります。また、住居確保給付金というキーワードだけで窓口案内される場合もあり、詳しく何々と家賃の支払いだけでなく、離職期間中に増えたその他の支払いなどの滞納があり、複合的に影響が出ている方がほとんどでした。

また、最近では若い受給者が増え、支給当初の3か月間で就職が決まっています。しかし、単に就職が決まれば生活が安定するというだけではなく、状況に合った家計の見直しが必要な人もいないかと思われます。住居確保給付金について検討したい方は、船橋市の住居確保給付金ホームページ、またはさーくるまでお問い合わせください。



(グラフ1)



(グラフ2)

相談の現場から

人と動物がともに暮らしやすい地域を目指して

少子高齢化の一方で、犬や猫などのペットを飼う人が増えています。2021年の年少人口(0～14歳)は1,478万人(総務省人口推計)ですが、犬・猫の飼育頭数は1,605万2千頭((一社)ペットフード協会)と、子どもの人口を上回っています。新たに飼育される犬・猫は、2020・2021年に増加しており、コロナ禍の影響で、ペットとの生活から癒しを求めたり、家族内でのコミュニケーションを深めている傾向がうかがえます。

一方で、何らかの理由で飼っているペットの数が飼育能力を超えてしまい不適切状況に陥る多頭飼育崩壊や、ペットを捨ててしまう遺棄、行き場のないペットが殺処分されてしまう問題など、様々な社会問題も起きています。

相談の現場でも、経済的な問題から適切な飼育環境を整えられなかったり、ペット可の物件が少なく、家賃相場も高いために転居ができないといった相談が寄せられています。

また、飼い主が病気のため入院が必要な状況になっても、飼い主以外に家族がいないために代わりに世話をしてくれる人がおらず、入院したくてもできないといった状況になる事があります。

こういった問題に対し、さーくるでは動物愛護指導センターなどの行政機関や、動物保護団体などと連携しながら、飼い主の経済的な問題の解決や預かり先の調整などを通じて、人も動物も安心して暮らせるようお手伝いをしています。

